

# 平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農村整備課  
 担当名：水利施設整備・農地整備担当  
 内線：4347 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B50	かんがい排水事業			一般会計	農林水産業費	農地費	土地改良費	かんがい排水事業費	
事業期間	昭和23年度～平成32年度	根拠法令	土地改良法第85条、土地改良事業関係補助金交付要綱、水利施設等保全高度化事業実施要綱、農地耕作条件改善事業実	宣言項目	09	儲かる農業の推進			
				分野施策	040936	農業の担い手育成と生産基盤の強化			
1 事業概要 農業生産基盤の基礎的要素である用排水条件を整備し、農業経営の安定と地域農業の確立を図る。  (1) かんがい排水事業費 △43,200千円 (2) 事務費 △2,160千円 国との内示差による減額				5 事業説明 (1) 事業内容 国 5/10 かんがい排水事業 △45,360千円 ア 予算額 種別 新規・継続の別 地区数 平成30年度要求額 補正額 一般型 継続 2 150,000千円 △78,200千円 一般型 新規 1 333,000千円 35,000千円 計 3 483,000千円 △43,200千円 事務費 - 24,150千円 △2,160千円 合計 3 507,150千円 △45,360千円  イ 工事内容 種別 地区数 事業量 一般型 3 用水路補修 0.9km 加圧機場 2箇所 排水機場 1箇所  (2) 事業計画 ア 目標水準：用排水施設の整備 イ 事業計画：(用排水改善面積) 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 事業計画 45ha 48ha 112ha 195ha 208ha  (3) 効果 用排水路の改修により用水不足・湛水被害が解消し、農業生産性が向上するほか洪水被害の軽減などが図られる。  (4) 補正予算の概要 国との内示差による減額。					
2 事業主体及び負担区分 事業主体：県 負担区分：(国・県・市町村改良区) 工事費：(5/10・2.5/10・2.5/10) 工事雑費：(0/10・7.5/10・2.5/10) 事務費：(0/10・7.5/10・2.5/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(補正係数) (区分)財源対策債償還費 農業農村整備事業に係る事業債の20%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.1人=29,450千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	分担金・負担金	県債					
決定額	△45,360	△21,168	△11,342	△10,000				△2,850	600,338
現計額	645,698	305,000	161,422	150,000				29,276	